

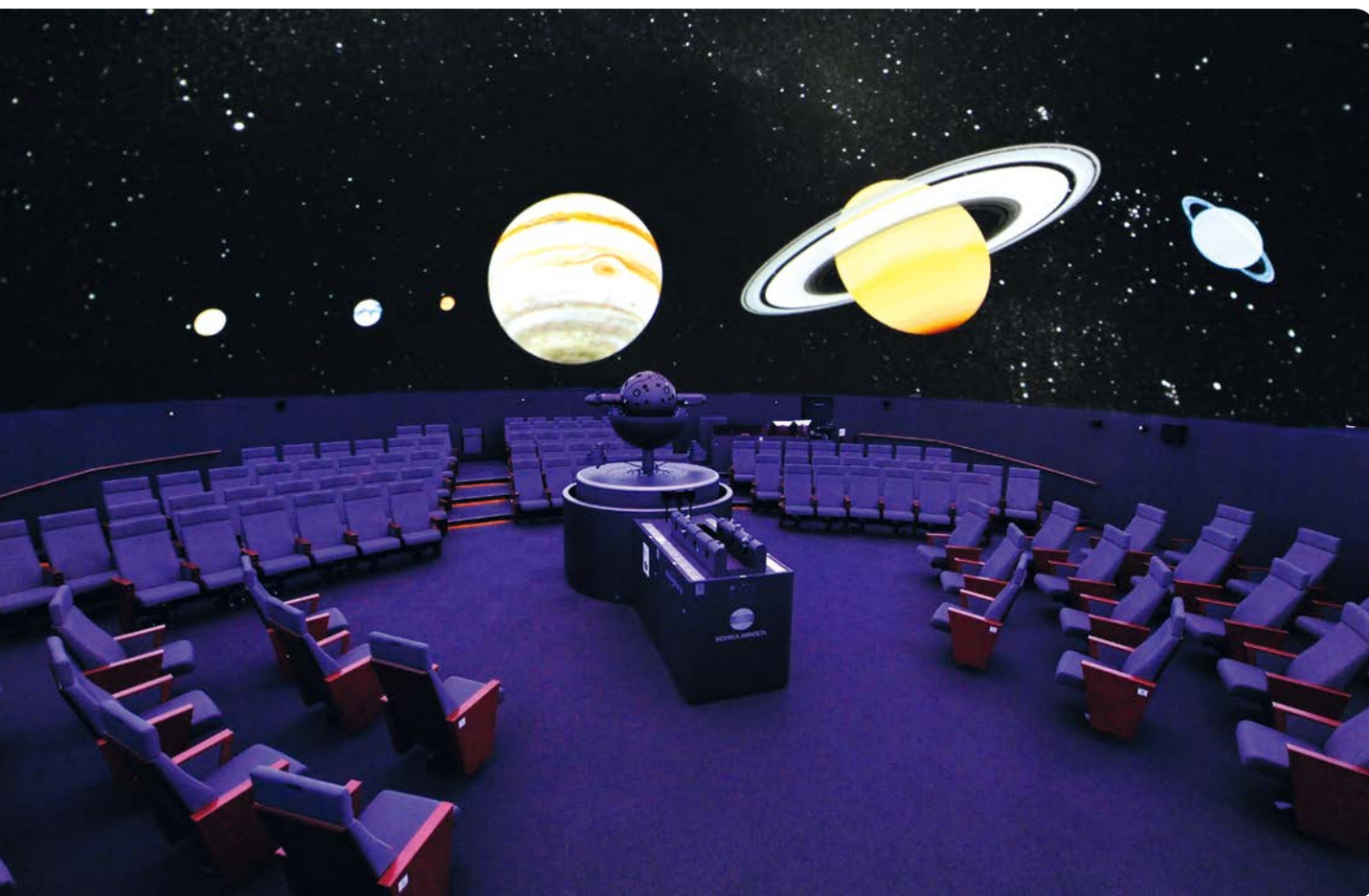
都民連だより

秋

平成27年10月
(第51巻2号)

特集 わが町ならではの地域包括ケアシステム 高島平団地の挑戦

- 民児協活動紹介「神楽鳩子の訪問日記」 ● 100年のあゆみから学ぶ
- 都民連通信「民生委員・児童委員顕彰碑」他
- キラリ☆この人 ● 東社協コーナー ● 活動記録あれこれ ● ミンジーレポート ● 編集後記



東京散歩

コスモ プラネタリウム渋谷 (渋谷区)

直径17mのドームスクリーンに、美しく自然な星空を再現する光学式と、天体や銀河の姿を宇宙飛行をしているように自在な視点で可視化するデジタル式の両方の投影システムで作り出される感動的な宇宙空間を、リクライニングシートでゆったりと観覧できます。

特に、光学式投影機使用時には生解説が行われます。日々移り変わる星空や月の満ち欠けについて、その都度話される内容が異なることも魅力の一つです。

(休館日：月曜日、祝日の場合は翌平日)

交通アクセス：渋谷区桜丘町23-21 JR渋谷駅西口より徒歩5分

渋谷区文化総合センター大和田12階 (写真提供：渋谷区文化総合センター大和田)

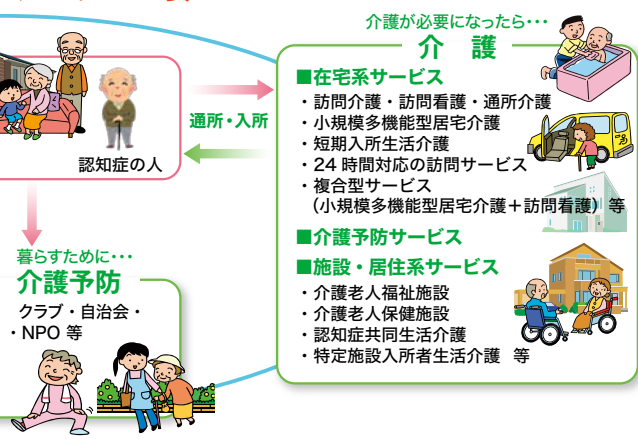
思いやり

あなたと私の地域の“わ”



—東京都民生委員・児童委員・主任児童委員—

システムの姿



都営三田線の高島平駅を出るとすぐ、周囲約4キロ、1万戸を抱える団地が広がります。都心から近く、公共施設や商店街などの生活基盤が充実した高島平は、東洋一のマンモス団地としてその名を全国に知られました。昭和47年の入居開始当時の賃料は、他の団地の約2倍。それにも関わらず応募が殺到しました。入居者は、比較的若い家族、特に第1次ベビーブーマーである「団塊の世代」が中心でした。

それから45年。団地の高齢化率は、40%を超えています。子どもたちは巣立ち、ひとり暮らし、夫婦のみ世帯が増えました。空き家となった部屋には、いつのまにか新住民が住まい、表札のない家も増えていきます。団地自治会の加入率は38%にまで落ち込み、近隣のつながりの希薄化が課題と

特集

Special edition

わが町ならではの地域包括ケアシステム 高島平団地の挑戦

10年後、東京の75歳以上の高齢者人口は2010年の1.6倍、単身・高齢者のみ世帯はともに1.7倍となることが予想されています。板橋区では、要介護状態や認知症高齢者を早期に把握し、安心して暮らすことができる**住まいの確保**に乗り出しています。

区では毎年70歳以上の高齢者の全戸訪問調査を行い、緊急連絡先等を提出する見守り登録を勧めています。調査では85%が元氣な高齢者ですが、引きこもりがちな方も7%程います。

この調査の担い手は民生児童委員です。高島平二丁目担当の今津さんが調査するのは350人、その内見守り登録者は50人程です。



独自に記号化した要支援者マップを常に携帯し気を配りますが、孤独死を避けられないこともあるそうです。管理を担うUR都市機構も、巡回安否確認等を行うコーデイネーターを配置したり、点在する空室を利用した全国初の分散型サービス付高齢者住宅を開設するなど対策に乗り出しています。さらに学生や若い世代を呼び込む多世代型コミュニケーションの形成に向けた団地再生を区とともに進めています。

「何かの時に頼りになるのはやっぱりご近所」と話す戸田さんは、お祭りや餅つき、防災訓練など、住民同士の出会いと交流に力を入れていきます。この夏は、

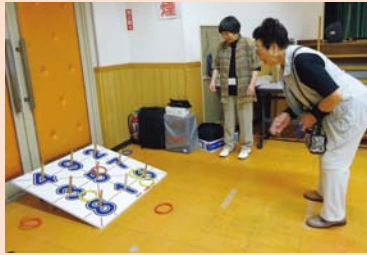


休止が決まった団地内の子ども用プールを二丁目団地自治会が運営し、親子連れに喜ばれました。住まいの確保と暮らし続けたいと思える地域づくりが大切です。

医療と介護の連携

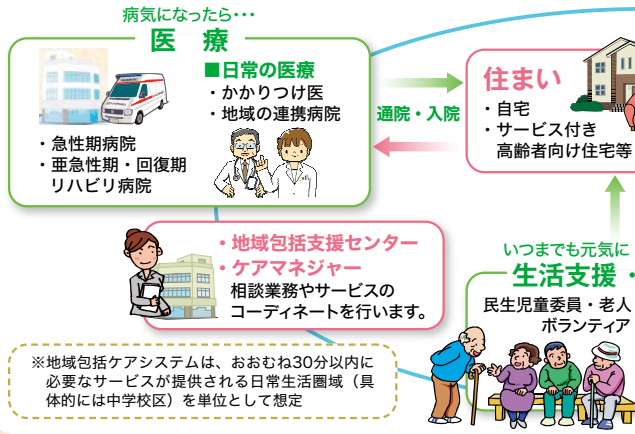
一方、住みやすさとして評価が高いのが、医療です。高島平地域には医師会が運営する病院と地域包括支援センター、訪問看護・居宅介護事業所、療養相談室の4つの機能を備えた在宅医療センターがあります。ここを拠点に多職種連携の網が張り巡らされ、

地域包括ケアシステムとは
要介護状態でも住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最期まで送るために、「住まい・医療・介護・生活支援・介護予防」が一体的に提供される仕組み。団塊の世代が75歳を迎える2025年までの構築が目指されている。介護保険に位置づけられたが、本来は高齢者のみならず、障がい、子どもの分野にも通じる概念（詳細は、平成27年5月全民児連発行「ひるば」参照）



▲高島平地域サロン
交流まつり
(26団体参加)

◀高島平二丁目団地を担当
する今津紘一民児協副会
長(右)と自治会長を兼
務する戸田敏之委員(左)。



なっています。
そんなこの町で、
平成24年、官民が協
働し「住み続けたい
高島平団地へ」と題
した団地独自の地域包
括ケアビジョンが策定さ
れました。この検討に参
加した民生児童委員の二
人に、高島平二丁目団地
の取り組みを伺いました。

介護



地域で暮らし続けるため
には、個々の自助、介護保
険等の共助や公助のサービ
ス

支え合いの仕組み化

まで自宅で過ごしたい
と、サービスを利用しなが
ら逝かれたひとり暮らし
の男性もいまし
た。今津さんは最
近急速に、在宅医
療が地域に浸透し
てきたと実感してい
ます。認知症カフェや
介護者交流会も頻繁に開催
され、在宅介護に意欲的な
住民も増えていきます。本人
の意思の尊重や地域で看取
するための家族、周囲の理解
を深める実践を広げるとも
に、医療・介護の情報共
有媒体や往診体制、24時間
型・小規模多機能型のサー
ビス開発が急がれています。



生活支援・
介護予防

今津さん、戸田さん
が関係者とともに描い

地域包括ケアの推進

防や居場所づく
りの視点からのサ
ロン活動が盛んで、民生児
童委員が立ち上げたものも
数多くあります。学生やN
POが運営するコミュニテイ
カフェもにぎやかです。5
年前に立ち上がった支え合
いネットワークには、地域の
多様な団体が所属し、協働
の場となっています。こうし
た互助が地域包括ケアシス
テムを支えています。

また介護予
防や居場所づく
りの視点からのサ
ロン活動が盛んで、民生児
童委員が立ち上げたものも
数多くあります。学生やN
POが運営するコミュニテイ
カフェもにぎやかです。5
年前に立ち上がった支え合
いネットワークには、地域の
多様な団体が所属し、協働
の場となっています。こうし
た互助が地域包括ケアシス
テムを支えています。



地域ケア
会議

域を育む民
生児童委員
の活躍が期
待されてい
ます。

た高島平団地の包括ケアビ
ジョンには、民生児童委員
の増員が盛り込まれ、次期
改選では3名の増員を予定
しています。また、ビジョン
策定を機に始まった「団地
包括ケア推進懇談会」には、
地域包括支援センター、社
会福祉協議会、UR都市機
構等の他、地区担当委員が
参加し、顔の見える関係の
中で、横の情報共有と連携
を深めています。

民児協

活動紹介



民生児童委員の神楽鳩子が、都内各地区の民生委員・児童委員活動取材し、その魅力をご紹介します！

目黒区民児協 ひとり親家庭の クリスマス会



▲「どれを取ろうかな」
心のこもった数々の料理は大人気！

毎年、ひとり親家庭の子どもたちに笑顔を届けているのは、目黒区民児協主催のクリスマス会です。十二月の第一日曜日、定員40名を



▲ちょっとはにかみながら受け取る子どもの笑顔は、委員にとって最高のプレゼントです。

上回る父と子、母と子を招待し、手作り料理やゲーム、合唱、サンタクロースからのプレゼント等、子どもたちが喜ぶプログラムを企画し実施しています。サンタクロースの登場にワクワクしたり驚いたり、**子どもたちの豊かな表情が、お母さんたちのほっとひと息つける時間にもつながっていきます。**

こうした楽しい時間は、**顔の見える関係を築く機会**にもなっています。「あ、赤鼻のトナカイのおぼちゃんだ！」と、ある日のスーパーマーケットで、トナカイ歴10年の民生児童委員に駆け寄ったのは、クリスマス会に参加した女の子。「お世話になりました」とお母さんも

笑顔で話し掛けてくれました。

「身近な相談相手」と言っても、知らない人に相談するのは勇気がいるもの。このクリスマス会で、わが子に優しく接してくれた、気さくに話してくれた民生児童委員には、**何かの折には相談へと、つながっていきます。**

「さて、今年はどうな仕掛けをしましょうか」プログラムの検討、周知する方法について、知恵を出し合っています。

この会に参加した方が、他のひとり親家庭の方にも、民生児童委員の存在、役割を伝えてくれます。課題を抱えやすいひとり親家庭とつながる素敵な取り組みですね！



小金井市 商店街等に 見守りのお願い



高齢者が地域で安心して暮らせるように、緩やかに温かい見守りの輪をつくる、小金井市民児協（市協力）の「高齢者地域福祉ネットワーク」。これは、福祉に関わる関係機関が一堂に会する会議ではなく、3年に一度、民生児童委員が**身近な地域の社会資源を調査し、直接訪問して、民生児童委員の役割を説明する**とともに、**気になる高齢者がいたら連絡をしてほしい**と見守り呼び掛ける仕組みです。

訪問先は、病院、薬局、接骨院等の**医療機関**、郵便局、駅等の**公的機関**、スーパーマーケットやコンビニ、理美容店等の**地域商店**、そのほか、町会・自治会、隣人、アパート管理人などで、それぞれの委員が思い浮かべる社会資源がネットワークの一員となります。

話を聞くと、「パンを大量に購入していった」「一日に何回も来店する」「帰り道が分からなくなっていた」など、気になり心配している

ケースが多数あることが分かります。

高齢者の暮らしに密着したお店や病院の方々が「おかしいな」と気付き、「何かお困りですか」とひと言葉を掛ける勇氣にもつながっています。高齢者の**変化や生きづらさに早期に気付く力を、地域全体で高める取組み**が続いています。

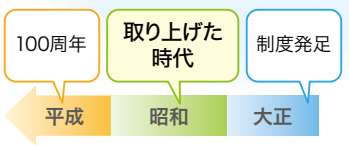
問題に気付く力、支え合う力を養い、地域力を高める具体的な方法を学びました！早速、私も地域の社会資源となる所を探しにいきたいと思います。



100年のあゆみから学ぶ⑥

むこうやま しょうたろう
向山 庄太郎 氏

ます いけ せい すけ
益池 清助 氏



このコーナーは、民生児童委員100年の歴史を振り返り、先人たちの足跡をたどります。

今回は、方面委員活動の組織化の流れとともに、東京の方面委員たちによって設立された桜ヶ丘保健院と、設立に尽力されたお一人をご紹介します。

つながり、協働する

方面委員たち

昭和期に入ると、方面委員活動を遂行するために、実践活動を支える団体の設立を求める声が委員自身から聞かれるようになりました。

そこで、昭和3年に東京市方面事業後援会（以下、後援会）が結成されました。

後援会では、東京市内の生活困窮者の生活救助ならびに医療保護を目的の一つとしていました。

また、救護法が施行された昭和7年以降、東京の方面委員が増加し、事業内容が急激に拡大・普及した

ことから、委員相互の連絡調整を図る組織が求められ、本会の前身である東京市方面委員連盟（以下、連盟）が結成されました。

病院設立を目指す

先人たちの情熱

当時、結核や精神疾患により入院や治療が必要であるにも関わらず、生活困窮状態のため医療サービスを受けられない人々が多くなりました。このため、委員たちにとって、結核病院と精神病院の設立は念願でした。そこで、自ら寄付を出し合い、いずれかの病院を設立する案が浮上します。

昭和10年の後援会評議員

会では、精神疾患患者と結核療養患者を取り巻く状況を詳細に調査した上で、より深刻で恵まれない状況に置かれていた精神疾患患者を保護・収容する病院の設立が決議されました。

昭和14年、後援会と連盟が合体、東京市方面事業協会となり、翌15年11月に、紀元2600年記念事業（※）として、「桜ヶ丘保健院（以下、保健院）」が当時の南多摩郡に開設されました。

思いを形にする

向山 庄太郎 氏

この保健院設立の先頭に立って働き掛けたのが向山氏です。氏は、昭和4年から東京市方面委員を委嘱され、救済活動に尽力するとともに、連盟の設立を呼び

掛けた人物でもあります。

当時、精神疾患患者に対しては、自宅内での監禁が行われる例が少なくない上、東京における精神病院は東京府立松沢病院以外にはありませんでした。そのような中、民間の精神病院設立を提唱したことは、真に支援を必要としている人々を何とか救いたいという委員たちの思いの表れであったと言えます。

情熱の継承

益池 清助 氏

益池氏は、大正14年から方面委員・民生委員として、30有余年の長きに渡り、生活課題を抱える人々を支援されました。保健院の建設には、常務理事・建設実行委員・長として準備にあたりました。戦後、氏は保健院の経営母体である方面事業協会を財団法人桜ヶ丘社会事業協会に改組し、事業の安定・拡充をはかりました。方面委員による病院の設立・経営は、他県にも例



益池 清助 氏（本郷区）
明治10（1878）年生

がない独自の取り組みです。それだけに、当時の委員たちは、自分が保健院のオーナーの一人であるという誇りを持っていました。

昭和27年には社会福祉法人化し、現在も桜ヶ丘記念病院として医療と福祉が密接に結び付いた特色ある運営を行っています。

このように、委員の組織活動の源流が築かれ、かつ精神疾患患者の救済にも道が開かれたことは非常に意義深いと言えるでしょう。

《参考文献》

- 桜ヶ丘保健院40年の軌跡・50周年記念誌（社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会）
- 「児童養護施設滝郷学園―精神疾患の療養所から児童養護施設へ―」小倉常明

【原稿執筆】

小倉常明（淑徳大学准教授）

（※）神武天皇即位から2600年目の昭和15年にさまざまな記念行事が行われた



都民連 通信

民生委員・ 児童委員顕彰碑



民生児童委員の顕彰碑が、後楽園駅（文京区）からすぐ近くにあることはご存知でしょうか。この顕彰碑は、昭和42年に民生委員制度創設50周年を記念し、本会が建立しました。

顕彰碑建立の経緯

東京都戦没者霊苑（文京区）の敷地内に建つ民生委員・児童委員顕彰碑は、先覚の委員の偉業をたたえ、

民生児童委員の精神を永く後世に残すために建立されました。

この顕彰碑は3枚からなり、先人の民生児童委員が築き上げた業績を表しています。前面の碑に刻



▲苑内は緑が多く、近隣に住む方や近くの保育園に通う園児たちの憩いの場にもなっています。

ます。前面の碑に刻まれた御製は民生委員制度創設50周年を記念する全国社会福祉大会に出席された天皇・皇后両陛下から多年の労をねぎらう励ましのお言葉として贈られたものです。この書は、侍従である入江相政氏が実物の大ききで直筆されました。顕彰碑の前方にある泉は、水の動きと



御製
いそとせも へにける ものか このうへも
さちうすきひとを たすけよといのる

▲天皇・皇后両陛下から贈られたお言葉

音の中に民生児童委員活動が泉のごとく無尽に続くことを期待して配置されています。

平成29年には、民生委員制度創設100周年を迎え、同時に顕彰碑が建立されて

物故民生委員 児童委員追悼式

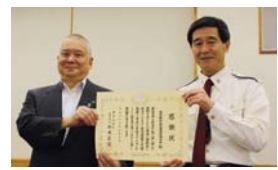
毎年秋、顕彰碑前においてご遺族、東京都福祉保健局長、東京都社会福祉協議会会長、関係法人の方々、各民生児童委員協議会会長にご出席いただき、物故民

から50年を迎えます。これから地域に根差した民生児童委員活動の進展に努めていくことを誓うとともに、先輩方の永年の功績に感謝し、この地を訪ねてみてはいかがでしょうか。

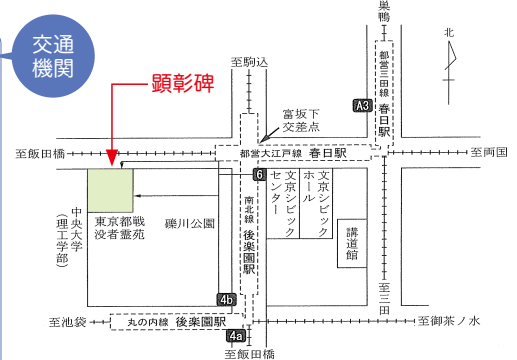
生委員児童委員追悼式を挙行しております。顕彰碑が建てられた昭和42年から始まり平成26年度までに、一万四千二百二十六柱の物故者名簿を奉安してまいりました。平成27年度は、10月23日に執り行う予定です。

コラム

消防庁より感謝状



昨年12月、東京消防庁より依頼のあった救急相談センターの啓発に関しては、訪問活動の際に広報ステッカーをご活用いただき、ありがとうございました。このたび、救急業務への協力に対し、本会に感謝状が贈られました。



文京区春日1-14-4 礒川公園西隣

キラリ★この人



子どもたちに自然の楽しさを伝えたい

清瀬市民生児童委員
せりざわ まさお
芹澤 正男 さん
(紹介者：池永副会長)

定年を機に、それまでできなかった地域貢献をしようと飛び込んだのが自然保護レンジャーだったと言う芹澤さん。市内に残る雑木林や空堀川・柳瀬川といった水辺を清掃し、遊歩道を整備するなど、市民が安全に自然に親しめる環境を守ることが主な仕事です。

「以前は草花や生き物に特に興味があるわけではなかった」そうですが、地域の方とコミュニケーションを重ねる中で、多くのことを教えていただいたのだとか。

現在関わっている「台田の杜緑地」では、かつて清瀬市内にも生息していたオオムラサキというチョウを飼育しています。これから越冬に向

かうオオムラサキの幼虫を、「こんなに小っちゃくても触ると怒ってツノを出すんだよ」と芹澤さんは愛おしそうになでながら話されます。夏休み中には多くの親子連れがこの飼育施設を訪れ、美しいオオムラサキの成虫が宙を舞う様子を楽しんだそうです。

「自然はできるだけ手を加えずに残したい。これから大人になる子どもたちが、後の世代にもこの自然を残そうと思ってくれるように、レンジャーを続けたい」とのこと。それが、自分の健康のためでもあると笑顔で語られました。



東社協コーナー



社会福祉法人の連携による社会貢献事業 ～制度の狭間の課題などにこたえるために～

ひきこもり、ゴミ屋敷など、従来の社会福祉制度では支援が難しい「制度の狭間の課題」や「複合的課題」などが増えており、地域で新たなニーズへの対応が求められています。また、多様な実施主体が社会福祉サービスを担う中、社会福祉法人のあり方が問われ、社会福祉法人制度改革が進められています。

東社協ではこれらの背景のもと、都内の法人や施設が地域で求められる役割を果たしていくために「社会福祉法人の連携による社会貢献事業」を実施しようと取り組んでいます。

各法人や施設の取り組みを情報発信

これまで各社会福祉法人は、地域で必要とされる取り組みを実施してきましたが、その取り組みの可視化や、情報発信は十分ではありませんでした。そのため、既に実施している事例を集め、東社協の広報紙やホーム

ページ(※)を用いて情報発信を始めました。

地域住民のサロンを作り高齢者や子育て家庭の支援を行う保育園や、地域で暮らし続けるために個別に寄り添ってさまざまなサポートを実践する高齢者施設の事例等が東社協に寄せられており、随時情報発信を行っています。

地域で法人のネットワーク化を推進

さらに区市町村ごとの地域で保育、障がい、高齢等の分野を超えて法人や施設が連携して地域課題に対応するネットワークの構築を推進しています。区市町村社会福祉協議会や民生児童委員の方々とも連携し、地域ニーズの把握、共有、新たなサービスや支援の創造につなげていくことを目指しています。

上記の取り組みを進めつつ、社会貢献事業検討委員会において、広域(東京全域)での連携事業や全体のしくみを検討してまいります。

※東社協ホームページ「地域のニーズにこたえる」
<http://www.tcsw.tvac.or.jp/kokenshien/>



秋になると、民児協で管外研修や宿泊を伴う研修に出掛けられるところも多いと思います。
管外研修は、施設見学や現地民児協との交流・研修などのプログラムによって民生児童委員の資質向上に努めるほか、民児協のお仲間同士の親睦を深める機会となっています。
今回は、これらの管外研修(宿泊研修)への参加に伴う記入方法について、例示をもとに確認します。

日・曜日	活動概要	その他の活動件数		連絡調整回数		活動日数(11)
		民児協運営・研修(4)	委員相互(9)	関係の他(10)	その他	
9日(金)	・翌週の民児協管外研修のしおりを参加者全員分印刷し、準備した。 ・見学先の施設に確認の電話をした。	—		—		○
15日(木)	・管外研修で〇〇県にある、特別養護老人ホーム、デイサービス、保育園などの複合施設を見学した。 ・宿泊先に到着後、会議室で臨時の高齢福祉部会を開催した。	┆				○
16日(金)	・管外研修の一環で、〇〇県△△市民児協と交流会を実施した。 ・帰りのバスの中で、研修ビデオを視聴した。	—				○

- * 9日 : ⇒ 管外研修で行う施設見学のしおりを作成したということ、研修の準備に伴う作業と捉え、「民児協運営・研修(4)」に1件記入します。
併せて、見学先の施設に連絡を取っているため、連絡調整回数の「その他の関係機関(10)」に1件記入します。
- * 15日 : ⇒ 管外研修と臨時の高齢福祉部会は、それぞれ異なる会合への参加と捉え、「民児協運営・研修(4)」に2件記入します。
- * 16日 : ⇒ 活動記録は1日ごとに記入しますので、2日目の管外研修もその日の活動として「民児協運営・研修(4)」に1件記入します。
※現地の民児協との交流会の実施も、研修ビデオの視聴も、管外研修のプログラムの一環と捉えるため、この日の活動としては2件ではなく、1件と記入します。



ミンジーレポート Report

千代田区異世代ふれあい交流会



さまざまな世代の方が集まれた中で、民生児童委員さんと一緒にごあいさつ。緊張しちゃった。
子どもたちのダンスや、町会の盆踊りなど、たくさんのプログラムがあり会場は終始大にぎわいだったよ☆

江東区亀戸地区夏まつり

このお祭りは去年に引き続き2回目。
来場者にリーフレットやポケットティッシュを配りながら、しっかり民生児童委員のPR活動をしたつもりだったけど、どうだったかな。
なんと民児協のコーナーには2日間で約1,000人の親子連れが来てくれたんだって！



編集委員

- 田邊 房代 (新宿区) 石塚 洋子 (荒川区)
- 諏訪 節子 (渋谷区) 権藤 京子 (杉並区)
- 佐藤 靖子 (江東区) 清水 邦夫 (日野市)
- 堂垣内 トモ子 (三鷹市) 塚崎 佳子 (東大和市)
- 小島 博幸 (青梅市)

編集協力

- 市東 和子・池永 和子 (都民連副会長：広報担当)

編集後記

今号の都民連通信は、昭和42年に民生委員制度創設50周年を記念して建立された民生委員顕彰碑のご案内です。皆さまはご存知でしたでしょうか。
民生委員制度は平成29年に創設100周年を迎えます。先達の足跡を学びながら、これからの活動に役立つ紙面作りを目指して、今回も熱心に話し合いました。

田邊 房代

発行

東京都民生児童委員連合会
〒162-0823
新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
TEL: 03 (3235) 1163 FAX: 03 (3235) 1169
E-mail: tominren@tcs.w.tvac.or.jp
年4回発行 印刷：株式会社トライ

※ミンジー出張をご希望の地区は、会長や行政を通して都民連までご連絡ください。